

2023年8月1日

HSBC ホールディングス PLC

2023 年中間決算 – ハイライト

グループ・チーフ・エグゼクティブ ノエル・クインのコメント:

「当社の上半期の業績は好調で、有形自己資本利益率について、2023年と2024年は上方修正した10%台半ばの目標を達成すると確信しています。世界中で順調に幅広い利益創出が行われ、堅調な純利息収益に牽引されてグローバル事業の収益は増加し、厳格なコスト管理が続きました。株主の皆様に対して1株当たり0.10米ドルの2度目の中間配当のほか、最大20億米ドルに上る今年2度目の自社株買いを実施できることは喜ばしく、今後もかなりの株主還元が期待されます。

世界経済が抱える多くの課題を前になすべきことが山積していますが、当社の戦略が次の段階へと進む中で私は未来に自信を持っており、価値創出を促し、収益を多角化し、厳格なコスト管理の維持に重点的に取り組みます。」

2023 年上半期の財務業績（前年同期比）

- **税引前当期純利益は129億米ドル増加して217億米ドルとなりました。**これには、フランスのリテール・バンキング事業の売却計画に関する減損21億米ドルの戻入、およびシリコンバレー銀行の英国法人（SVB UK）の買収による15億米ドルの暫定利益が含まれています。**恒常通貨ベースの税引前当期純利益は133億米ドル増加して217億米ドルとなりました。報告ベースの税引後当期純利益は91億米ドル増加して181億米ドルとなりました。**
- **収益は123億米ドル増加して369億米ドルとなりました。**増加は、金利の上昇を受けて当社のすべてのグローバル事業で純利息収益が増加したことによるものです。また、フランスでの売却計画と英国での買収に関する影響も含まれています。**恒常通貨ベースでは、収益は132億米ドル増加して369億米ドルとなりました。**
- **純金利マージン（NIM）は46ベースポイント(bp)上昇して1.70%でした。**
- **13億米ドルの予想信用損失およびその他の信用減損損失（ECL）は、ほとんどの市場で見通しが安定したことを反映したのですが、インフレ圧力は継続しています。**2023年上半期の費用には中国本土の商業用不動産セクターに関する3億米ドル、および英国の商業銀行事業（CMB）の費用が含まれています。2022年上半期の費用である11億米ドルは、ロシア・ウクライナ戦争とインフレ圧力を主因とする経済の不確実性の高まりを反映しましたが、中国本土の商業用不動産セクターに関する3億米ドルも含まれました。ただし、これは新型コロナウイルス感染症関連の引当金の取り崩しによって一部相殺されました。
- **営業費用は155億米ドルと、2022年上半期より7億米ドル、率にして4%低下しましたが、その主因は2022年末にコスト削減プログラムが終了して組織再編およびその他関連費用が減少したこと、さらに過去の資産の減損の戻入による2億米ドルの影響も含まれました。**これは、テクノロジー費用の上昇、業績連動型報酬の増加、2023年上半期の退職金2億米ドル、インフレ高騰の影響によって一部相殺されました。**目標ベースの営業費用は4.3%上昇しました。**
- **顧客貸出残高は2022年12月31日から360億米ドル増加しました。恒常通貨ベースで見ると、貸出残高は230億米ドル増加しましたが、これは、売却目的保有資産としていたフランスのリテール・バンキング事業関連残高の再分類、および2023年第1四半期中のSVB UKの買収を受けた70億米ドルの残高の追加が主因です。**これらは、オマーンの事業を売却目的保有資産に再分類したことに伴う30億米ドルの減少によって、一部相殺されました。これらの要因を除くと、香港と欧州を中心とするホールセール貸出への需要の低迷を反映して、顧客貸出は減少しました。
- **顧客勘定は2022年12月31日から250億米ドル増加しました。恒常通貨ベースで見ると、顧客勘定は30億米ドル増加しましたが、これは、売却目的保有資産としていたフランスのリテール・バンキング事業関連残高を当期間中に再分類したことが主因です。**さらに、SVB UKの買収により70億米ドル増加した一方で、2023年上半期に、オマーン事業を売却目的保有資産に再分類したことにより、50億米ドル減少しました。これらの要因を除くと、ウェルス&パーソナル・バンキング事業（WPB）、HSBC UKの商業銀行事業、グローバル・バンキング&マーケッツ事業（GBM）での減少を反映して、預金は減少しました。
- **有形自己資本利益率（RoTE）（年率）は2022年上半期の10.6%に対し、22.4%となりました。**フランスでの売却計画と英国での買収に関する年率換算の影響を除くと、RoTE（年率）は18.5%でした。
- **普通株式等 Tier 1（CET1）資本比率は14.7%と、2022年第4四半期から0.5%ポイント上昇しました。**これは配当を除いた資本増加によるものであり、フランスでのリテール・バンキング事業の売却計画に伴う減損の戻入およびSVB UKの買収による暫定利益からの約0.3%ポ

イントの影響が含まれます。これは、リスク加重資産（RWA）の増加、および2023年5月に23年第1四半期決算の際に発表された自社株買いの影響によって一部相殺されました。

- 取締役会は1株当たり0.10米ドルの第2回中間配当を承認しました。当社は最大20億米ドルに上る自社株買いも計画しており、近々開始して3カ月以内に完了する見通しです。

2023年第2四半期の財務業績（前年同期比）

- 報告ベースの税引前当期純利益は41億米ドル増加して88億米ドルとなりました。
- 収益は45億米ドル増加して167億米ドルとなりました。これは主に金利の上昇を反映したもので、グローバル事業全般で成長が見られました。WPBの保険とGBMのデット・キャピタル・マーケットが好調に推移し、グローバル外国為替と株式での減少を相殺しました。
- 純金利マージン（NIM）は1.72%と、2023年第1四半期から3bp上昇しました。
- 予想信用損失およびその他の信用減損損失（ECL）は5億米ドル増加して9億米ドルでした。2023年第2四半期のECLには、中国本土の商業用不動産セクターの費用3億米ドルと、CMBを中心とする英国の3億米ドルが含まれています。
- 営業費用は1億米ドル減少して79億米ドルでした。これは、2022年末に終了したコスト削減プログラムにより組織再編およびその他の関連コストが減少したことや、過去の資産の減損の戻入によるものです。この減少は、2023年第2四半期の退職金2億米ドル、テクノロジー支出の増加、業績連動型報酬の積立拡大、インフレの影響によって一部相殺されました。
- 顧客貸出残高は2023年3月31日から90億米ドル減少しましたが、これには、オマーン事業を売却目的保有資産に再分類したことによる30億米ドルの減少が含まれています。残りの減少は、クライアントのレバレッジ解消と金利の上昇に伴う需要の低迷を反映したHSBC Bank plcのGBMが主因です。
- 顧客勘定は2023年3月31日から180億米ドル減少しましたが、これには、オマーン事業を売却目的保有資産に再分類したことによる30億米ドルの減少が含まれています。残りの減少は、法人顧客が預金をローンの返済に充てた欧州のGBM、および物価上昇と競争圧力を反映したHSBC UKによるものでした。

2023年の見通し

- 戦略により、当社はバランスシートを一段と強化し、コスト管理を維持しながら、現在の金利サイクルで成長する基盤を備えています。この結果、自信を持って2023年と2024年の資本利益率に対するガイダンスを修正できました。世界の政策金利の市場が示唆する現在の道筋を踏まえ、当社は大規模な買収と売却の影響を除いた2023年と2024年のRoTEについて10%台半ばを目標に掲げています。
- 世界の政策金利についての現在の市場コンセンサスを踏まえ、当社は2023年通年の純利息収益のガイダンスを350億米ドル台に引き上げました。金利見通しは引き続きポジティブですが、短期金利の上昇に伴い、定期預金への移行が続くと当社は予想しています。
- 2023年は平均総貸出額の40bp前後のECL費用を引き続き予想しています（売却目的保有資産へ振り替えた貸出残高を含む）。英国を中心に、将来の経済の見通しにやや不確実性が残っており、中国本土の商業用不動産セクターへのエクスポージャーにまつわるリスクを注視しています。中長期については、ECL費用の計画に平均貸出額の30bp~40bpを継続して適用します。
- 当社はコスト管理の維持に引き続き専念しています。為替換算調整差、特記事項、実質ベースでハイパーインフレ経済となった2022年の結果の再調整による影響を除き、2023年の営業費用の伸び率は引き続き約3%を目標としています。目標はSVB UKの買収および国際的な関連投資の影響も除外していますが、これがグループの営業費用を約1%上乘せると予想されます。2023年第2四半期は2億米ドルの退職金が生じ、2023年末と2024年にかけて支出が発生する見通しです。
- CET1比率は中期目標の14~14.5%以内に収める予定であり、長期的にはこの範囲を引き下げることを目指します。さらに、重大な特記事項を除いて、2023年と2024年の配当性向を50%とします。1株当たり0.10米ドルの第2回中間配当を発表したほか、最大20億米ドルの自社株買いを近々開始し3カ月以内に終了する予定です。2023年以降の自社株買いについては、適切な資本水準に従うことが条件です。

主要財務指標

	2023 年 上半期	2022 年 上半期
報告ベース		
税引前当期純利益（百万米ドル）	21,657	8,780
税引後当期純利益（百万米ドル）	18,071	8,931
コスト効率性（％）	41.9	65.7
純金利マージン（％）	1.70	1.24
普通株式 1 株当たり利益（米ドル）	0.86	0.40
希薄化後普通株式 1 株当たり利益（米ドル）	0.86	0.40
普通株式 1 株当たり配当金（期末時点）（米ドル）	0.20	0.09
その他の財務指標		
税引前恒常通貨利益（百万米ドル）	21,657	8,404
恒常通貨コスト効率性（％）	41.9	65.7
顧客への総貸付金に対する予想信用損失およびその他の信用減損損失（ECL）（年率）の比率（％）	0.28	0.21
売却目的保有を含む、顧客への総貸付金に対する予想信用損失およびその他の信用減損損失（ECL）（年率）の比率（％）	0.26	0.21
重大な特記事項を除く普通株式 1 株当たり利益（米ドル） ¹	0.70	0.29
平均普通株式資本利益率（年率）（％）	20.8	9.9
平均有形自己資本利益率（年率）（％）	22.4	10.6
戦略的取引を除いた平均有形自己資本利益率（年率）（％） ²	18.5	10.6
目標ベースの営業費用（百万米ドル） ³	15,319	14,683
	At	
	30 Jun 2023	31 Dec 2022
貸借対照表		
総資産（百万米ドル）	3,041,476	2,949,286
顧客への純貸付金（百万米ドル）	959,558	923,561
顧客勘定（百万米ドル）	1,595,769	1,570,303
平均金利資産、年初末（百万米ドル）	2,162,662	2,143,754
顧客への貸付金の対顧客勘定比率（％）	60.1	58.8
総株主資本（百万米ドル）	184,170	177,833
有形普通株式資本（百万米ドル）	153,234	146,927
期末における普通株式 1 株当たり純資産額（米ドル）	8.44	8.01
期末における普通株式 1 株当たり有形純資産額（米ドル）	7.84	7.44
資本、レバレッジ、流動性		
普通株式 Tier1 資本比率（％） ^{4,5}	14.7	14.2
リスク加重資産（百万米ドル） ^{4,5}	859,545	839,720
総資本比率（％） ^{4,5}	19.8	19.3
レバレッジ比率（％） ^{4,5}	5.8	5.8
高品質の流動資産（流動性の額、平均）（10 億米ドル） ^{5,6}	631	647
流動性カバレッジ比率（平均）（％） ^{5,6}	132	132
株数		
期末の 0.50 米ドル発行済み普通株式数（百万株）	19,534	19,739
期末の 0.50 米ドル発行済み普通株式数と希薄化潜在的普通株式数（百万株）	19,679	19,876
平均発行済み 0.50 米ドル普通株式数（百万株）	19,693	19,849

報告ベース指標から恒常通貨ベース指標への調整については特記事項のリストを含めて、Interim Report 2023 の 39 ページを参照。その他の財務指標の定義および算出方法については Interim Report 2023 の 57 ページ「Reconciliation of alternative performance measures」を参照。

- 2023 年第 2 四半期の 1 株当たり利益には SVB UK の買収に関する暫定利益の影響である 0.08 米ドル（2022 年第 2 四半期：0）、フランスのリテール・バンキング事業の売却計画に関する減損損失の戻入の 0.08 米ドル（2022 年第 2 四半期：0）、合意されたカナダのバンキング事業の売却の 0（2022 年第 2 四半期：0）が含まれています。さらに、2022 年第 2 四半期の 1 株当たり利益には一定の税金資産が計上された影響である 0.11 米ドルが含まれています。
- ともに 2023 年第 1 四半期に計上された、売却目的保有資産より分類変更したフランスのリテール・バンキング事業の売却計画に関する 16 億米ドル（税引後）の減損損失の戻入、および SVB UK の買収に伴う 15 億米ドルの暫定利益の影響を除きます。
- ハイパーインフレ経済の前年コストを恒常通貨で換算した影響を除きます。
- 別途記載がない限り、規制資本比率や資本要件は当該時の暫定的自己資本要求規則に基づきます。2023 年 6 月 30 日時点の IFRS 第 9 号の CET1 への追加は重要ではありませんでした。EU の規制及び指令（技術基準を含む）への言及は、該当する場合、2018 年欧州連合（離脱）法に基づき英国法に組み込まれ、その後英国法に基づき改正された当該規制又は指令の英国版への言及として読み替えられるものとします。
- 規制上の数値および比率は、報告日現在のものです。これらの数値および比率は、その後提出される規制当局の報告書類との間でわずかな変更が発生する可能性があります。重要な差異がある場合には、後日再表示します。
- 流動性カバレッジ比率は、過去 12 カ月間の月末の平均値に基づいています。

連結損益計算書

1

	2023年 上半期 百万米ドル	2022年 上半期 百万米ドル
純利息収益	18,264	13,385
- 受取利息	46,955	19,788
- 支払利息	(28,691)	(6,403)
純手数料収益	6,085	6,228
- 受取手数料	7,947	7,913
- 支払手数料	(1,862)	(1,685)
公正価額で表示されているかトレーディング目的で保有している金融商品からの純収益	8,112	4,856
保険事業において損益を通じた公正価額で表示する派生商品を含む資産と債務からの純収益 / (費用)	4,304	(11,849)
保険金融収益 / (費用)	(4,234)	11,773
保険サービス業績	524	370
- 保険収益	1,104	980
- 保険サービス費用	(580)	(610)
買収利益 ²	1,507	—
フランスのリテール・バンキング事業の売却計画に関する減損損失の戻入 ³	2,130	—
その他の営業収益	184	(218)
予想信用損失およびその他の信用減損損失前営業収益 ⁴	36,876	24,545
予想信用損失およびその他の信用減損損失の変動分	(1,345)	(1,087)
純営業収益	35,531	23,458
人件費	(8,954)	(8,896)
一般管理費	(4,912)	(5,337)
有形固定資産、使用権資産償却費および減損損失	(782)	(1,072)
無形資産償却費および減損損失	(809)	(822)
営業費用合計	(15,457)	(16,127)
営業利益	20,074	7,331
関連会社および合弁会社からの利益分配金	1,583	1,449
税引前当期純利益	21,657	8,780
法人所得税等	(3,586)	151
当期純利益	18,071	8,931
帰属利益:		
- 親会社普通株株主	16,966	7,966
- その他株主	542	626
- 少数株主持分	563	339
当期純利益	18,071	8,931
	\$	\$
普通株式 1 株当たり利益	0.86	0.40
希薄化後普通株式 1 株当たり利益	0.86	0.40

1 2023年1月1日から、当社はIFRS第4号「保険契約」に代わり、IFRS第17号「保険契約」を導入しました。比較データを再表示しています。

2 SVB UK の買収に伴い計上された 15 億米ドルの暫定利益

3 売却目的保有資産より分類変更したフランスのリテール・バンキング事業の売却計画に関する 21 億米ドルの減損損失の戻入

4 収益として言及される、予想信用損失およびその他の信用減損損失の変動前の純営業収益

連結包括損益計算書

1

	2023年 上半期 百万米ドル	2022年 上半期 百万米ドル
当期純利益	18,071	8,931
その他包括利益 / (損失)		
特定の条件を満たした場合、後の期間に損益として再区分される項目:		
その他の包括利益を勘案した債券の公正価値	549	(6,246)
- 公正価値評価益 / (評価損)	804	(8,120)
- 売却により損益計算書に振り替えられた公正価値評価益	(63)	(52)
- 損益計算書に認識された予想信用 (回収) / 損失	(3)	17
- 法人所得税	(189)	1,909
キャッシュフロー・ヘッジ	(1,062)	(2,063)
- 公正価値 / 評価損	(1,700)	(1,646)
- 損益計算書に振り替えられた公正価値 (評価益) / 評価損	227	(1,127)
- 法人所得税その他の変動	411	710
その他包括利益 / (損失) のうち関連会社および合併会社の持分	101	(142)
- 当期持分	101	(142)
保険契約からの純金融収益 / (損失) 率 ²	(101)	1,360
- 法人所得税等控除前	(136)	1,833
- 法人所得税等	35	(473)
為替換算差額	(347)	(8,382)
後の期間に損益として再区分されない項目:		
有形資産再評価の公正価値評価益	1	—
確定給付年金プラン関連の数理計算上の利益 / (損失)	(112)	95
- 法人所得税等控除前	(105)	(132)
- 法人所得税等	(7)	227
当初公正価値で表示した金融負債の自社クレジットリスクの変動による公正価値増減	(653)	2,263
- 法人所得税等控除前	(867)	3,030
- 法人所得税等	214	(767)
その他包括利益を通じた資本制金融商品の公正価値	7	158
- 公正価値評価益	7	158
ハイパーインフレの効果	578	428
当期のその他の包括損失、税効果後	(1,039)	(12,529)
当期包括利益 / (損失) 合計	17,032	(3,598)
当期包括利益の帰属:		
- 親会社普通株主持分	15,986	(4,405)
- その他持分	542	626
- 少数株主持分	504	181
当期包括利益 / (損失) 合計	17,032	(3,598)

1 2023年1月1日から、当社はIFRS第4号「保険契約」に代わり、IFRS第17号「保険契約」を導入しました。比較データを再表示しています。

2 その他の包括利益の保険契約からの純金融利益 / (損失) は、実効為替レート、およびその他包括利益を通じて公正価額で表示されたサポート資産の予想信用損失を相殺する額です。2023年上半期は、保険契約からの純金融利益 / (損失) -1億100万米ドルが計上され (2022年上半期: 13億6,000万米ドル)、サポート資産へのその他包括利益 (OCI) の公正価額を相殺する1億800万米ドルが計上されました (2022年上半期: -14億3,900万米ドル)。

連結貸借対照表

	下記時点 ¹	
	2023年 6月30日 百万米ドル	2022年 12月31日 百万米ドル
資産		
現金および中央銀行預け金	307,733	327,002
受取為替	10,649	7,297
香港特別行政区政府債務証券	42,407	43,787
トレーディング資産	255,387	218,093
損益通算後の公正価額による表示ないし算定が必要な金融資産	104,303	100,101
デリバティブ資産	272,595	284,159
銀行貸付金	100,921	104,475
顧客貸付金	959,558	923,561
リバースレポ取引-非トレーディング目的	258,056	253,754
金融投資	407,933	364,726
売却用所有資産	95,480	115,919
前払い金および未収収益その他の資産	175,473	156,149
当期税金資産	1,262	1,230
関連会社および合弁会社持分	29,546	29,254
営業権および無形資産	11,925	11,419
繰延税金資産	8,248	8,360
資産合計	3,041,476	2,949,286
負債および資本		
負債		
香港流通紙幣	42,407	43,787
銀行預り金	68,709	66,722
顧客勘定	1,595,769	1,570,303
レポ取引-非トレーディング目的	170,110	127,747
支払為替	10,776	7,864
トレーディング負債	81,228	72,353
公正価額で表示されている金融負債	139,618	127,321
デリバティブ負債	269,560	285,762
社債	85,471	78,149
売却用所有処理グループの負債	87,241	114,597
未払費用および前受収益その他の負債	155,275	134,313
当期税金負債	1,921	1,135
保険契約債務	115,756	108,816
引当金	1,722	1,958
繰延税金負債	976	972
劣後負債	23,286	22,290
負債合計	2,849,825	2,764,089
資本		
資本金	10,073	10,147
資本剰余金	14,737	14,664
その他持分	19,392	19,746
その他剰余金	(9,935)	(9,133)
繰延利益剰余金	149,903	142,409
総株主持分	184,170	177,833
少数株主持分	7,481	7,364
資本合計	191,651	185,197
資本および負債合計	3,041,476	2,949,286

¹ 2023年1月1日から、当社はIFRS第4号「保険契約」に代わり、IFRS第17号「保険契約」を導入しました。比較データを再表示しています。